

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション誌

WOWOW LETTER

第26期 決算報告 2009年4月1日~2010年3月31日

財務編

Focus

トップインタビュー.....P1-2

●2014年度までの中期経営計画の概要..... P4

特集編 は裏面表紙からご覧ください。

これからのテレビ



証券コード4839

Focus

■ トップインタビュー



わざきのぶや
代表取締役社長 **和崎 信哉**

● プロフィール

1944(昭和19)年生。京都大学教育学部卒業。
1968年NHK入局。ディレクターとして「NHK特集 シルクロード」などを担当。編成局チーフ・プロデューサー、衛星放送局部長、デジタル放送推進局長、理事などを歴任。2005年、(社)地上デジタル放送推進協会専務理事を経て、2006年WOWOW会長。2007年6月社長に就任。

“WOWOWは新たなハイビジョン・3チャンネル

Q 2011年7月「放送の完全デジタル化」に向けた状況を教えてください

A 2011年7月24日にアナログ放送が停波しますが、この年の10月から当社は念願のハイビジョン・3チャンネルでの放送を開始します。これを当社の“第二の創業”と位置づけ、2010年度はその土台固めをする年とし、さまざまな経営課題に取り組んでいます。

放送の完全デジタル化に向け、「アナログ加入者の早期デジタル移行」は最重点項目の1つです。2009年度末には、デジタル累計正味加入件数が200万件を超え、2008年度末に70.1%だったデジタル比率が80.8%へと上昇しました。BSアンテナを立てて直接WOWOWをご覧いただいているお客様については、2010年度中にほぼ完全にデジタル契約に移行していただく計画です。2010年3月末ではまだ50万弱のアナログ加入者がいらっしゃいますが、このアナログ契約の方は当社にとって永くご契約いただいている、いわば古くからのWOWOWファンのお客様です。デジタル放送の魅力や移行特典を訴求して、デジタル契約への移行をおすすめしていきます。

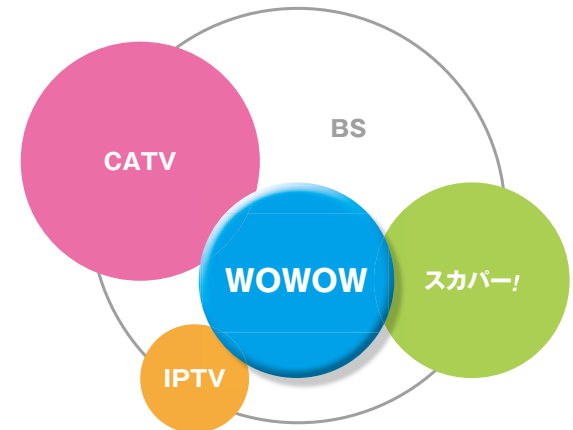
また、継続的な番組の強化も重要な取り組みです。オリジナルコンテンツでは、連続ドラマWや、ノンフィクションWをはじめとするドキュメンタリー番組などを放送しました。また、「007」シリーズ全22作品の一举放送など、選りすぐりの番組を放送することにも注力しました。さらに、開局以来の最大のオリジナルイベント「WOW FES!」を2009年10月に渋谷エリアで開催し、松任谷由実のライブ映像の3D上映など新しい試みにも取り組みました。

このように、2011年10月からの「ハイビジョン・3チャンネル放送」に向け、「アナログ加入者の早期デジタル移行」そして「番組ラインナップの充実」を行っています。

Q 中期経営計画の指針について教えてください

A 2014年度までの中期経営計画の基本方針は、「新たなハイビジョン・3チャンネル放送局」に生まれ変わることで。WOWOWは、自ら独自番組を発信し、有料放送のプレゼンスを向上させ、有料放送市場の拡大を牽引します。そして、有料放送のリーディング・カンパニーとしてのブランドを確立し、世界を視野に入れて、有料放送メディアとして成長していきたいと考えています。

計画の基軸となる「新たなハイビジョン・3チャンネル放送」を説明しますと、いま当社は時間帯に応じてハイビジョン1チャンネル放送と標準画質での3チャンネル放送を行っていますが、これが2011年10月からは24時間、ハイビジョン・3チャンネルでの放送になります。チャンネル数は3倍に増えますが、月額視聴料は



有料放送市場

2014年度市場推計：1,425万契約(当社推計)

※スカパー!＝124/128+e2

放送局に生まれ変わります”

税込み2,415円のままで変わりませんので、実質の値下げとなります。2011年10月以降、BSデジタル放送は新規参入の有料放送事業者が増えることで、激しい競争時代に突入します。しかし、当社はハイビジョン・3チャンネルを存分に活かした番組編成により、差別化を図っていきます。現在検討している各チャンネルのコンセプトですが、1つ目のチャンネルは、ファミリーで楽しめる総合エンターテインメントチャンネルで、オリジナルドラマをはじめ海外ドラマや映画などを放送します。洋画は主に吹替で放送することを検討しています。2つ目のチャンネルは、スポーツ、音楽、ステージなどの臨場感をそのままお届けするチャンネルです。3つ目のチャンネルは、WOWOWの最も得意とする映画を24時間放送します。

ハイビジョン・3チャンネル放送により、1チャンネルではできなかった多くの加入者のリクエストにお応えし、WOWOWでしか見ることのできない上質な番組を提供していきます。

Q 中期経営計画の目標達成への戦略を教えてください

A 中期経営計画のねらいは、3つのチャンネルを通じてオリジナルコンテンツを提供し、国内放送事業の規模拡大に軸足を置きつつも、有料放送のリーディング・カンパニーとして世界を視野にWOWOWブランドを展開していくことと考えています。当社は有料放送市場において先駆的な企業イメージがありますが、加入者獲得における営業戦略としては視聴料などの値引きによる価格訴求が中心でした。2007年以降、価格訴求からテレビ局として本来の「番組訴求」に転換したことにより、オリジナルコンテンツなどへの満足度、評価が上がってきました。今後は、「ハイビジョン・3チャンネル放送」により、WOWOWならで

はの上質なエンターテインメントを提供しつつ、ブランドづくりで大切な「お客様に何を約束できるか」を徹底的に追究し、お客様満足度をさらに高めるさまざまなサービスを提供したいと考えています。

そのために世界中から選りすぐりのコンテンツを調達したり、国内外の有力メディア企業などと映画・ドラマを共同製作するなど「世界視点の放送事業者」になることも重要な戦略ととらえています。さらに継続視聴につながる「マーケティングの強化」や、「周辺事業サービスの拡大」にも取り組みます。(財務編P4参照)

「放送の完全デジタル化への移行」そして「ハイビジョン・3チャンネル放送」と、2010年度以降、当社は非常に重要な局面を迎えます。WOWOWは株主の皆様を始め、加入者の皆様とともにこれからも着実に歩み、有料放送のリーディング・カンパニーとして、公共放送、広告放送、有料放送による“3元体制”の一翼を担う、有料放送メディアを目指します。

目標達成に向けて

コンテンツのさらなる充実を図ります

- 世界中の選りすぐりの番組を日本初放送

年間 **1,800本以上** (※映画を除く)

- オリジナルのドラマ、ドキュメンタリーの製作

年間 **125本以上**

- 洋画から邦画まで世界中の映画を網羅

年間のファーストラン **800本以上**



「中期経営計画 目標」

2014年度末累計正味加入件数

285万件 (2009年度末249万件)

- 有料放送市場(契約数)における加入契約率20.0%の確保

2014年度売上高

780億円 (2009年度655億円)

- 有料放送収入 700億円
- 放送外収入 80億円
- 経常利益率 10.0%以上の確保

※数値は連結

2009年度の業績の概況と2010年度業績見通し

決算ハイライト(連結)

(百万円)

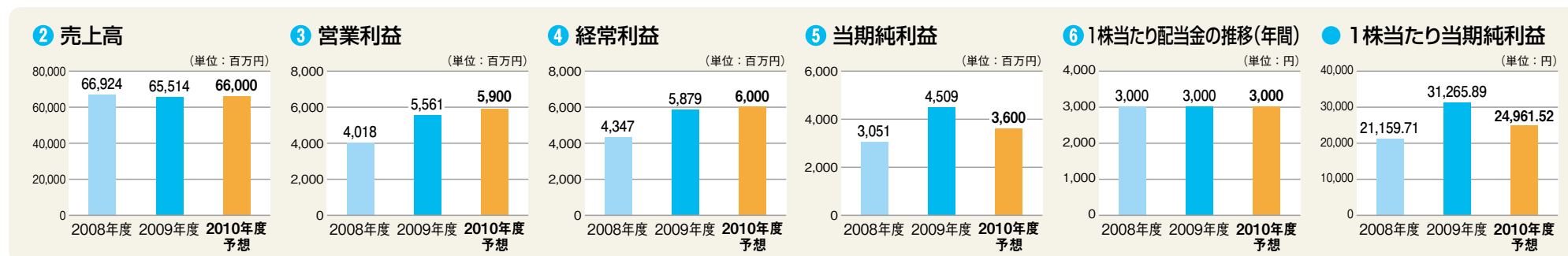
② 売上高	65,514百万円 (前期比 2.1%減)
③ 営業利益	5,561百万円 (前期比 38.4%増)
④ 経常利益	5,879百万円 (前期比 35.2%増)
⑤ 当期純利益	4,509百万円 (前期比 47.8%増)

財務ハイライト(連結)

(百万円)

総資産	44,457百万円 (前期末比 4,824百万円増)
負債合計	20,727百万円 (前期末比 457百万円増)
純資産	23,729百万円 (前期末比 4,366百万円増)

連結業績の推移



番組強化が実を結び、4期連続加入者純増を達成

2011年7月の放送の完全デジタル化以降もNo.1プレミアム・ペイチャンネルの地位を確固たるものにするため、2009年度も引き続きオリジナルコンテンツの強化を図り、話題性のある質の高い番組を放送しました。オリジナル番組では「連続ドラマW」を3シリーズ放送したことに加え、「ドラマW」、「ノンフィクションW」などの番組を放送し視聴者の皆様から好評を得ました。また話題性のある番組としてはMr. Childrenのライブや世界最高峰のネイチャー・ドキュメンタリーシリーズ「BBC EARTH 2010」や、映画「007」シリーズ全22作品一挙放送なども放送しました。結果、新規加入件数は75万4,081件、累計正味加入件数①は249万466件と1万4,489件の4期連続加入者純増を果たしました。

デジタル累計正味加入件数が200万件を突破

デジタル放送受信機器の急速な普及と、アナログ加入者のデジタルへの移行促進策の積極推進により、2009年度末時点で、デジタル累計正味加入件数が200万件を突破し、デジタル比率も80.8%となりました。デジタル移行促進策としては、2009年8月よりデジタルWOWOWの新規加入者を対象に初回視聴料を割引する「スタート割」の制度化や、アナログ加入者がデジタル移行時に2ヵ月間無料となる移行特典の強化を実施しました。

効率的費用投下で増益

当期の連結業績は、売上高②はテレマーケティング子会社のグループ外からの受注減少などに伴うその他収入の減少などにより、前期比2.1%の減収となりました。利益につきましては、前期における「UEFA EURO 2008™」などの一時的なビッグイベントに係る番組費、広告宣伝費等が減少し、営業利益③は前期比38.4%増、経常利益④は35.2%増の増益となりました。当期純利益⑤は、法人税等の計上はあったものの、法人税等調整額の計上などにより前期比47.8%の増益となりました。なお、1株当たりの期末配当金⑥については前期と同じ3,000円といたしました。

2010年度事業計画の概要

放送の完全デジタル化を迎える2011年を「第二の創業」と位置づけ、2010年はそれに向けた準備の年として、次の3つに取り組みます。

・デジタル移行の積極推進：アナログ加入者 実質「ゼロ」の達成

徹底したデジタル移行対策の実施と、スカパー！HDでの新たな加入促進などにより、デジタル比率97.7%と5期連続の加入者純増を目指します。

・経営体制の更なる強化：効率的な費用投下による利益確保

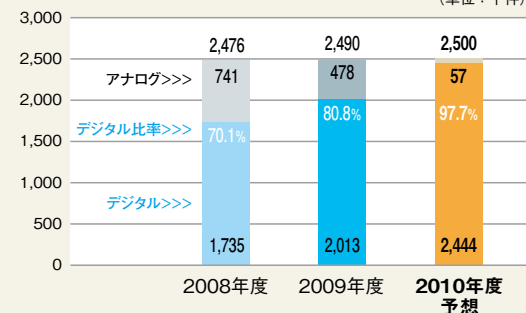
オリジナルコンテンツの継続的な強化と、費用の効率的な投下を同時に実行し、かつ放送外収入の強化・開発にも取り組みます。

・放送の完全デジタル化に向けた取り組み強化：ハイビジョン・3チャンネル体制への基盤作り

ブランドで選ばれる局となるために「連続ドラマW」や「ノンフィクションW」などのオリジナル番組や話題性のある番組を戦略的に強化します。

① 累計正味加入件数推移

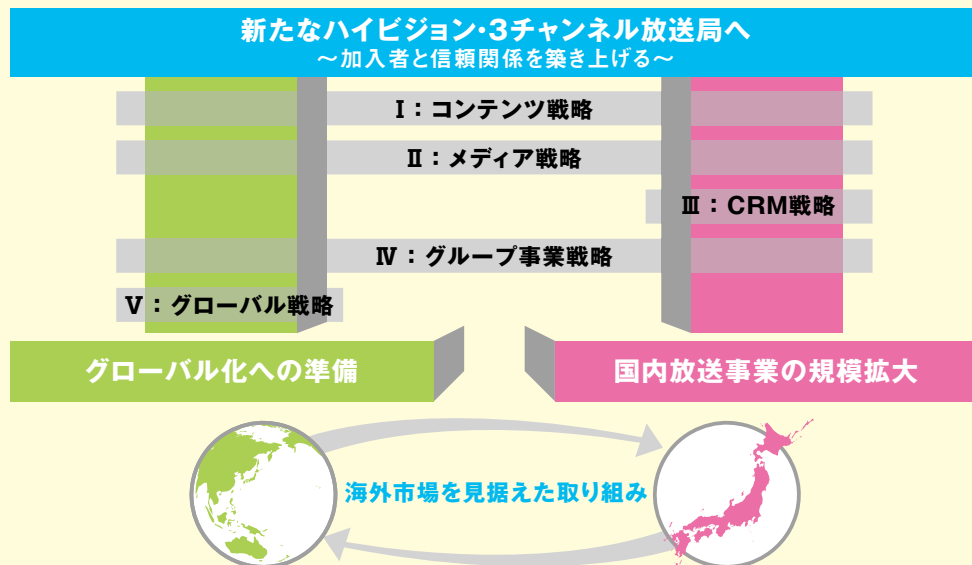
(単位: 千件)



2014年度までの中期経営計画の概要

「国内放送事業の規模拡大」と「グローバル化への準備」を2つの柱とし、5つの戦略を実行していきます。オリジナル番組の強化や3チャンネルに増えることによるコンテンツの量的拡大、3D放送の検討などの新たなサービスの拡大により、日本におけるコンテンツのターミナル(HUB)となることを目指します。また、永く見続けていただけるチャンネルとなるため、加入者とのリレーション強化や加入者同士の交流の場の提供などによって、ブランド・ロイヤリティの醸成に取り組みます。さらに、オリジナルコンテンツの世界展開や、海外有力メディア企業などとの共同製作により、海外を視野に入れた新たなWOWOWブランドの確立を目指します。

中期経営計画を実現するための戦略

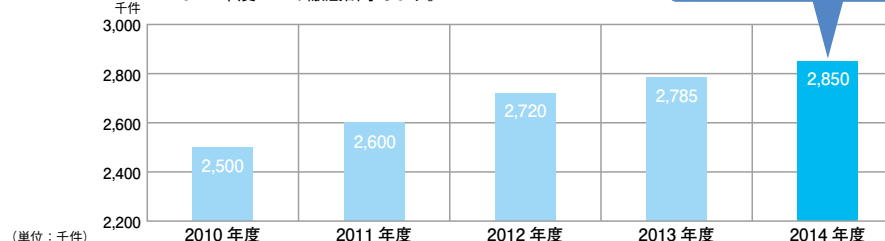


中期経営計画 目標

● 加入計画

・2011年10月からハイビジョン・3チャンネル放送がスタートし、2012年度にかけ徹底訴求します。

2014年度末
目標 **285** 万件

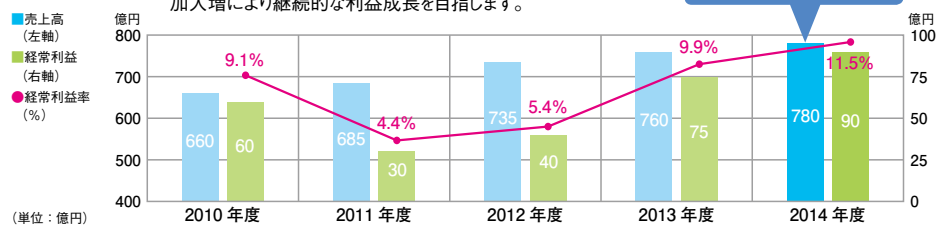


項目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
累計正味加入件数	2,500	2,600	2,720	2,785	2,850
正味加入件数	10	100	120	65	65

● 収支計画 (連結)

・売上高は、加入増により、着実な増収を目指します。
・経常利益は、ハイビジョン・3チャンネル放送スタートに伴う番組費などの増加により一旦減少しますが、2013年度以降、加入増により継続的な利益成長を目指します。

2014年度
売上高目標 **780** 億円



項目	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
売上高	660	685	735	760	780
経常利益	60	30	40	75	90
経常利益率	9.1%	4.4%	5.4%	9.9%	11.5%

I コンテンツ戦略

WOWOWは日本における、コンテンツのターミナル(HUB)となる

■世界中からコンテンツを調達し加入者に届け、またオリジナル番組を世界に発信

- 1 番組の量的拡大とオリジナル番組の創造
- 2 コンテンツの魅力の徹底訴求
- 3 コンテンツのマルチユースの徹底
- 4 海外コンテンツ調達力の強化
- 5 人材、放送体制の強化

II メディア戦略

有料放送のリーディングカンパニーであるために

■有料放送サービスを“核”に周辺サービスを充実

- 1 事業の“核”
= 有料放送サービス
- 2 周辺事業(サービス)の拡大
= 映像サービス
- 3 新規事業の推進
= 次世代サービス

III CRM戦略

永く見続けていただけるチャンネルへ

■WOWOWと加入者や、加入者同士のコミュニケーションの活性化

- 1 新生WOWOWのブランドの確立
- 2 加入者コミュニケーションの確立
- 3 マーケティング強化による、加入から継続視聴へ繋がる施策の継続検討
- 4 カスタマーセンターの強化

IV グループ事業戦略

有料放送のプレゼンスの向上へ

■コンテンツ製作力の強化と、有料放送の特性を活かしたグループ全体の成長

- 1 WOWOWコミュニケーションズ
- 2 大規模イベントの実施
- 3 継続的なアライアンスの検討

V グローバル戦略

オリジナルコンテンツ製作を軸にして、世界を視野にブランド展開

■自らコンテンツを作る、世界視点の放送事業者

- 1 国際的な「ものづくり」の環境整備
- 2 人材育成・社内体制の構築

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション誌

WOWOW LETTER



特集編

Close-up シリーズ第2弾が登場！

連続ドラマW パンドラII 飢餓列島 P2

● NEW WOWOWひろば P5

財務編 は裏面表紙からご覧ください。

これからのテレビ



証券コード4839

Coming Soon



ザ・パシフィック

太平洋戦争を製作費200億円という空前のスケールで描く超大作ドラマ。スティーヴン・スピルバーグが製作総指揮を担当。

●2010年7月スタート



ウィンブルドンテニス

全13日間におよぶロンドンの「テニスの聖地」での熱戦を、今年は100時間を超える圧倒的なボリュームでお届け。

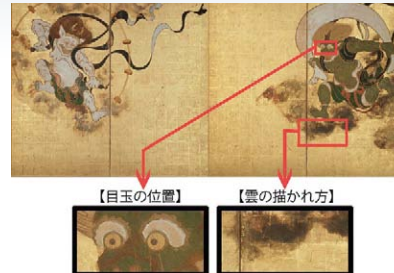
●2010年6月～



BBC EARTH 2010 イエローストーン 最古の自然遺産

英国BBC製作のネイチャードキュメンタリー。シリーズ最後は米国のイエローストーン国立公園の大自然に迫る。

●2010年7月スタート



ノンフィクションW 美術のゲノム ~400年前にあった3Dの世界~

日本美術の魅力に「デジタル復元」で迫るシリーズ。第4弾は俵屋宗達の名作「風神雷神図屏風」を紹介。

●2010年7月

写真：「風神雷神図屏風」



連続ドラマW「マークスの山」

今秋放送決定!

警察小説の最高峰、作家・高村薫の直木賞受賞作品100万部突破のベストセラーが初のテレビドラマ化!

●2010年秋

ハイビジョン
3チャンネル

【2011年10月以降、ハイビジョン・3チャンネル放送へ!】

1チャンネルでは実現できなかった、多くの加入者のリクエストにお応えすることが可能に

現在は、時間帯に応じて、ハイビジョンでの1チャンネル放送と、標準画質での3チャンネル放送でお届けしていますが、2011年10月以降は、ハイビジョン・3チャンネルでの放送を行います。

今までの3倍も楽しめる豊富な番組を、現在と同様、月額視聴料2,415円(税込み)でご覧になれます。これにより、すでにご加入いただいているお客様にとってのサービス向上だけでなく、今までWOWOWに触れたことなかった未加入の方にも魅力的なチャンネルとして、さらなる飛躍をします。ぜひ、ご期待ください。



新規のご加入はこちら

9.5スタート割 翌月末まで945円!

B-CASカード1枚につき1回限り

デジタルWOWOWの新規ご加入お申し込み・お問合せはこちらから。

0120-808-369 9:00~20:00 年中無休

パソコン・ケータイ WOWOW 検索

<http://join.wowow.co.jp/kanyu.html/>

株主の皆様はさらにお得!

「WOWOW 視聴優待」をご選択いただくと、WOWOWの視聴料3ヵ月分が0円!

毎年9月末の株主の皆様を対象に年1回株主優待を実施いたします。

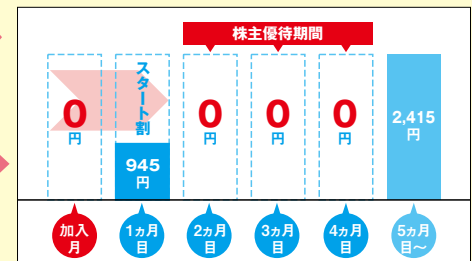
1株以上所有の株主の皆様は①、②のいずれかを贈呈。(2010年6月末現在)

① WOWOW 視聴優待 WOWOWにご加入されていること、もしくは加入していただくことを条件として、WOWOWの視聴料3ヵ月分無料

② 関連グッズ 当社の指定する商品の中から希望商品1点を贈呈

●詳しくは…WOWOW IR情報サイト ▶ TOP > IR情報 > 株主優待

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/return.html



Close-up



連続ドラマW「空飛ぶタイヤ」

上質なエンターテインメントをお届けする連続ドラマW

昨年3月から放送した「空飛ぶタイヤ」(全5話)は、第26回ATP賞テレビグランプリでグランプリに輝いたことをはじめ、数多くの賞を受賞しました。大企業によるリコイル隠しという「現代社会の闇」を描いた社会派ヒューマンサスペンスドラマを、仲村トオルや田辺誠一らオールスターキャストが演じました。

数々の賞に輝いた「パンドラ」の制作チームが再結集した続編

東京ドラマアワード・グランプリをはじめ、数々の賞に輝いた連続ドラマW第1弾「パンドラ」(※)。その制作チームが再び結集した新シリーズ「パンドラII 飢餓列島」(全7話)を4月18日より放送しました。物語の舞台は食糧危機が迫る近未来の日本。一人の農学者が通常の4倍のスピードで成長する奇跡の穀物(トウモロコシ)を発明したことから、巨大な陰謀と欲望の渦に巻き込まれていくという本格サスペンスド



連続ドラマW



ラマです。人気脚本家 井上由美子が前作に引き続き書き下ろした圧倒的リアリティを誇るストーリーを、佐藤浩市や鈴木京香をはじめとする豪華キャストが見事に演じています。初回を無料放送でお届けした結果、前作「パンドラ」の初回放送時を大きく上回る加入件数を獲得しました。

海外でも放送!

昨年の7月3日〜10日に、ベトナムの国営放送「VIE TNAM TELEVISION」にて連続ドラマW第1弾「パンドラ」がベトナム語の吹替版で放送されました。今後も質の高さを武器に、海外マーケットでの当社ドラマの認知度向上を目指します。

受賞歴

「真のエンターテインメントを目指して極限までクオリティを追求する」をコンセプトに、2003年からスタートした「ドラマW」、そしてその優れたクオリティを継続的に楽しみいただくために2008年にスタートした「連続ドラマW」。いずれも幅広い視聴者からご支持をいただくとともに、数多くの賞を受賞しています。なお受賞歴は会社情報サイトからご覧いただけます。

http://www.wowow.co.jp/co_info/service/award1.html

※連続ドラマW 受賞歴

- 2008年『パンドラ』**
- 東京ドラマアワード作品賞グランプリ(連続ドラマ)
 - 平成20年日本民間放送連盟賞番組部門テレビドラマ番組優秀
 - 第25回ATP賞テレビグランプリ2008ドラマ部門優秀賞
 - 2008年ギャラクシー賞テレビ部門4月度月間賞
- 2009年『空飛ぶタイヤ』**
- 第26回ATP賞テレビグランプリ2009グランプリ
 - 第26回ATP賞テレビグランプリ2009最優秀賞(ドラマ部門)
 - 平成21年日本民間放送連盟賞番組部門テレビドラマ番組最優秀
 - 東京ドラマアワード・優秀賞(連続ドラマ部門)

制作スタッフの声

● 脚本家 井上由美子

飽食と食料自給率低下のジレンマに悩む現代日本において、「食」は極めて身近な問題。このドラマで生きるための行為として描かれた「食」の在り様を通じて、「生きる」ことの喜びや哀しみが皆さんの心に響いたらうれしいですね。豪華な俳優の皆さんの、今まで見せたことがない顔を、「パンドラの箱」を開くようにお届けできればと思っています。

● エグゼクティブプロデューサー 青木泰憲 (WOWOW制作局制作部)

「パンドラ」シリーズでは、WOWOWのメイン層である40～50代の視聴者にターゲットを絞り、彼らがふだん見ている海外ドラマを競合作として研究しました。「日本で、もし飢餓が起きたら」という重いテーマですが、大人が共感できるエンターテインメントに仕上がっていると思います。

01 WOW FILMS『パレード』がベルリン国際映画祭で賞を獲得！

徹底して上質にこだわった映画を企画・製作する劇場用映画レーベルWOW FILMS。今年2月に公開された第4弾『パレード』が、ドイツで開催された第60回ベルリン国際映画祭において、パノラマ部門の国際批評家連盟賞を受賞しました。本作は「世界の中心で、愛をさけぶ」「GO」の行定勲監督が映画化を熱望していた作品で、実力俳優として有名な藤原竜也のほか、香里奈、小出恵介といった人気・実力に秀でた若手俳優らが出演しています。

WOW FILMS 『パレード』



©2010映画「パレード」製作委員会

WOW FILMS 作品では初めてとなる国際映画祭受賞を成し遂げた今作について、行定勲監督は「日本の若者の複雑な人間関係を描いた作品が海外で受け入れられたことは意外であり、本当にうれしい。この作品には人歩きしてほしくないです」と受賞の喜びを語りました。

WOW FILMS

WOW FILMS 『白夜行』



©2011映画「白夜行」製作委員会

『白夜行』では、妻夫木聡と松山ケンイチが初共演。「天然コケッコー」などを手がけた山下敦弘監督がメガホンを取ります。激動の1960年代を駆け抜けた若者たちの、心揺さぶる青春ドラマにご期待ください。

2011年は『白夜行』『マイ・バック・ページ』を公開予定
WOW FILMSでは、2011年に『白夜行』『マイ・バック・ページ』の公開を予定しています。1月公開の『白夜行』は、東野圭吾のベストセラー小説が原作のミステリー作品。堀北真希と高良健吾が共演し、『60歳のラブレター』の大ヒットも記憶に新しい深川栄洋が監督を務めます。そして2011年に公開予定の『マイ・バック・ページ』では、妻夫木聡と松山ケンイチが初共演。「天然コケッコー」などを手がけた山下敦弘監督がメガホンを取ります。激動の1960年代を駆け抜けた若者たちの、心揺さぶる青春ドラマにご期待ください。

02 WOW シナリオ大賞から生まれたドラマがギャラクシー賞を受賞



第3回WOWシナリオ大賞授賞式の様子

映像文化の発展に貢献するべく2007年に創設したWOWシナリオ大賞。プロ・アマ問わず優れたシナリオを発掘・映像化することで脚本家を育成し、活躍の場を提供してきました。第3回は過去最高となる730編の応募があり、CMディレクターとしても活躍する福島敏朗氏の「仄かに薫る桜の影で」が大賞を受賞。2010年度内のドラマ化を目指して制作に入っています。

Brand Topics
また、第2回WOWシナリオ大賞を受賞し、ドラマWとして3月7日に放送した「蛇のひと」(脚本・三好晶子氏)が、放送批評懇談会のギャラクシー賞テレビ部門2010年3月度月間賞を受賞しました。WOWシナリオ大賞受賞作が賞を獲得することは初となります。



第2回WOWシナリオ大賞受賞作ドラマW「蛇のひと」

03 デジタルWOWが6月1日から「スカパー!HD」で放送開始

Brand Topics

2010年6月1日より、「スカパー!HD」のプラットフォーム上でデジタルWOW(Ch.621~623)の放送を開始しました。当社は2006年12月より「スカパー!」でWOW(Ch.330)のサービスを展開しておりますが、2011年10月のハイビジョン・3チャンネル放送開始に向けて、周辺事業の拡大による加入者増加を図るべく、スカパー!HDでデジタルWOWのサービスを行うことになりました。スカパー!HDでの放送は、常時3チャンネルでのハイビジョン放送(※)となります。なお、スカパー!(Ch.330)でのアナログWOWの放送は、2011年7月24日までに終了します。

※ハイビジョン番組の中には、時間帯によってスタンダード番組をハイビジョンにアップコンバートした素材が含まれます。

WOWOW加入者の皆様とともに

デジタル移行の取り組み

デジタル完全移行に向けて、アナログ加入者の皆様に積極的な案内・サポートを提供しています

WOWOWは2009年度も年間を通して、アナログ加入者の皆様に向けて放送の完全デジタル化(2011年7月)のお知らせとデジタル移行のご案内を実施してきました。カスタマーセンターと協力し、積極的な移行促進の告知活動を実施、さらには、日本全国の電気店、各ケーブルテレビ局とも連携し、お客様の視点に立った形で「デジタル移行」の環境づくりを進めてきました。例えば、デコーダでアナログ放送を視聴している長期加入者の皆様を対象にしたデコーダ回収サービスや、デジタルが苦手なお客様のためにわかりやすく解説した小冊子の送付などを実施しました。また、これに連動した告知をアナログ放送やWebでも展開することで、日頃から意識することなく「デジタル」に触れることができる環境を醸成してきたことにより、2009年度末には、デジタル比率80.8%と計画を上回ることでできました。

今後は、まだアナログ放送をご視聴いただいているお客様のデジタルへの障壁を取り除くため、「かけつけサポート(※)」など新たなサービスに取り組みます。これらのサービスによって一層スムーズなデジタル移行を実現させ、来る

加入者サービスの取り組み

「WOWOWに加入して良かった!」
 と思っただけのよう、
 加入者の皆様をご招待する
 多彩なイベントなどを実施

加入者の皆様にWOWOWを身近に感じていただけるよう、さまざまなイベントやプレゼントを企画実施しています。音楽ライブや映画のジャパンプレミア、試写会、番組の公開収録など、WOWOWならではのイベントにご招待したり、番組オリジナルグッズをプレゼントしたりと盛りだくさんです。

今年1月には、ロサンゼルスで開かれた世界最大の音楽の祭典・グレイミー賞の授賞式に、加入者の代表が「特派員」として参加し、その模様をレポートしていただきました。また卒業シーズンであった3月には、東京・中野サンプラザにてオリジナルのオムニバスライブ「卒業のうた」の公開収録を開催し、幅広い世代の皆様楽しんでいただきました。



プログラムガイド4月号



移行特典の紹介サイト

●http://join.wowow.co.jp/kanyu_html/deji3.html



アナログ加入者向け小冊子

放送の完全デジタル化の日を迎えられるよう積極的に取り組んでいきます。

※「かけつけサポート」とは…BSアンテナの再調整や交換、購入されたデジタル機器の接続・設定や使い方をデジタル全般についてのさまざまな質問・ご要望にお応えするサービスです。



「第52回グラミー賞授賞式」にご参加の4名様
 グラミー賞スペシャルレポート



「卒業のうた'10 ~songs for tomorrow~」
 公開収録に100組200名様をご招待

プラスW

<http://www.wowow.co.jp/plusw/>

「プラスW」は、さまざまなプレゼント企画を、WOWOW加入者・WOWOWオンラインをご利用の皆様にご案内するサービスブランドです。

映画試写会、イベント招待、加入者を代表してのレポーター「WOWOW特派員」など、WOWOWだからこそできる、WOWOWに加入しているからこそ手が届く「エンターテインメントサービス」です。

株主・投資家の皆様との対話を深める

WOWOWひろば

IR情報サイト リニューアル

株主・投資家の皆様にWOWOWのことをより深く知っていただけるよう、本年4月に当社IR情報サイトをリニューアルしました。是非ご活用ください。

NEW

▶「個人投資家の皆様へ」



●WOWOWについて

事業内容やこれまでの歩みについて紹介しています。

Check!

業績と配当の情報は
こちらをチェック!

▶業績について



前年度の実績と、今年度の事業計画および業績予想についてご報告します。

▶配当・株主優待



配当実績と配当予想、株主優待に関する情報をご覧いただけます。

Check!

最新の決算情報は
こちらをチェック!

▶決算のご報告



決算説明会の質疑応答、動画によるインタビューなどもご覧いただけます。

最新の決算に関する情報は、「業績・財務情報」に掲載しています。

●お知らせ

株主・投資家の皆様へWOWOWからのお知らせを掲載しています。

●IRニュース

TDnet(ティー・ディー・ネット)(※)で開示した情報を掲載しています。

※東京証券取引所の運営する適時開示情報伝達システム(Timely Disclosure network(タイムリー・ディスクロージャー・ネットワーク))

更新情報がひと目でわかるRSS機能について

RSSとは、サイトの見出しや内容の要約などを載せたファイルのことです。RSSを利用するためのソフト(「RSSリーダー」や「RSSティッカー」などと呼ばれています)にお好みのRSSを登録しておいていただくと、サイトを一日に何度も見回りに来たりしただけでなく、最新情報をいち早くつかんでいただくことができます。



▶IR情報 TOPページ TOP > IR情報

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir

▶中期経営計画



中期経営計画を掲載しています。

▶放送の完全デジタル化に向けて

NEW



2011年の放送の完全デジタル化に向けての取り組みを随時掲載しています。